

四郷小だより

発行人 北岡 美代子

まだまだ寒い日が続きますが、「立春」を過ぎ、暦の上では春となりました。寒さはまだまだ続きそうですが、校庭の木々の芽もふくらみ、春が近づいてきていることが感じられます。

今年度もあと2か月となりました。子どもたちの進級・進学に向けて今年度のまとめをしっかりと、教育活動の充実に努めてまいります。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

各学年の授業の様子

4年生 ステップワンの方との交流

1月19日(木)、4年生が「ステップワン」作業所を訪問させていただきました。職員さんや入所されている方々と一緒にさおり織りをしたり、部屋プレートを作ったりして、楽しく過ごさせていただきました。

四郷小学校は、ステップワンのみなさんと毎年続けて交流させていただいております。次回は、外で一緒に凧あげをする予定です。



5年生 漁業についての学習

1月23日(月)、5年生は三重県農林水産課の方々と伊勢農林水産事務所の方々をゲストティーチャーにお招きし、伊勢の漁業について教えていただきました。

「伊勢市に漁港はいくつあると思いますか？」

「この中で、伊勢でとれる魚は？とれない魚は？」など、クイズ形式で楽しく授業を進めていただきました。また、伊勢の漁業の特徴や魚のとり方について、動画を視聴しながら学ばせていただきました。海苔すき体験もさせていただきました。



1月25日(水)は、この冬一番の寒気が流れ込み、日本各地で大雪となりました。伊勢でも大変冷え込み、朝、道路には雪が積もっていました。路面が凍結していたので、安全のため、この日の授業開始は2限目からとしました。当日の急な連絡となり、申し訳ありませんでしたが、ご協力いただきまして、ありがとうございました。



2年生 「いのちの授業」

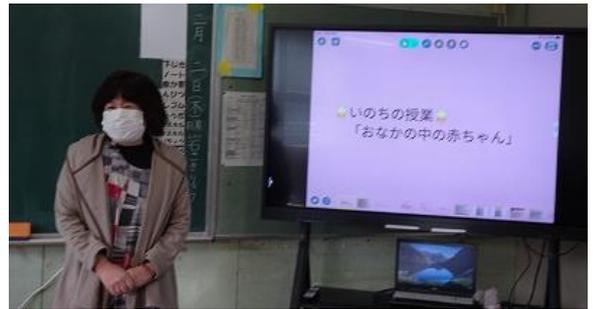
2月2日(木)、校長、担任、養護の3人が、2年生で「いのちの授業」をしました。

子どもたちは、養護の先生から、赤ちゃんはおなかの中でどのように成長していくのか教えてもらい、その後、おなかの中の赤ちゃんの映像を見て、心臓の音を聞きました。

そして、赤ちゃん人形を抱っこしました。どの子どもとっても優しい表情で、大事に、大事に抱っこしていました。

子どもたちは、「妹がお母さんのおなかにいる時、家族が毎日話しかけてたよ。」「ぼく、弟の面倒をみているよ。」「ぼくは、予定日より遅れて生まれてきたらしい。」など、教えてくれました。

子どもたちには、自分が生まれてきた力や持っている力、大切に育まれてきたこと、命の尊さについて気づき、これからも、自分や相手の命・体・心を大切にしていってほしいです。



おなかの中で、赤ちゃんが動いています。トクトクトク…心臓の音も聞きました。



そおっと、そおっと、優しく大事そうに赤ちゃん人形を抱っこする子どもたち

6年生 「きれいなまちに」

6年生は、「まちの未来をえがこう」という学習を進める中、「ごみの落ちていないきれいなまちにしたい。自分たちにできることをしていきたい。」と話し合い、まちのゴミ拾い活動を行いました。また、6年生は12月に、まちづくり協議会の事務局長さんに、「自分たちの考える未来の四郷のまち」についての発表を聞いていただいたのですが、この度、「まちに立てておく幟(のぼり)に入れる標語を考えてほしい。」という依頼をいただきました。子どもたちは、立てられる場所やその場所の様子を確認し、自分たちなりに標語を考えました。

まちづくり協議会の方から、以下のようなメッセージをいただきました。地域の一員として、自分たちにできることをすることは、子どもたちの成長にとっても大切なことだと考えます。そして、地域の方から認めていただけることは、本当にありがたいことです。

【まちづくり協議会様より】

「沢山の候補作を挙げて頂いて、どうもありがとうございました。大人でもなかなかこれだけの量を考えて貰うことがないなかで、子どもらしく、素晴らしい着眼点の多くの標語を地元の子供たちに考えてもらえたのは、これだけでも実に素晴らしい成果だと思っています。本当にどうもありがとうございました。」

あとは、住み良い暮らし委員会と相談の上、のぼり旗製品化に向けて頑張りますので、よろしく願います。」

